

第220回弘前大学大学院医学研究科倫理委員会議事要旨（概要）

日 時 平成21年5月27日（水）17:00～18:15
場 所 医学部長室
出席者 黒田直人（委員長）、鬼島 宏、中根明夫、兼子 直、廣田和美、齋藤久美子、
元村 成、外崎敬和、小林朱実、五十嵐靖彦、堀内健志、片山良子
欠席者 奥村 謙、鍵谷昭文、田中 完、中林裕雄

I 確認事項

- 1 第219回大学院医学研究科倫理委員会議事要旨
第219回大学院医学研究科倫理委員会議事要旨が確認された。

II 報告事項

- 1 臨床試験・研究等の倫理審査結果一覧（4/22～5/26）
 - 1）下部尿路症状を有する慢性前立腺炎に対する薬物治療の有効性に関する検討
（泌尿器科学講座 准教授 神村 典孝 ※審査結果：再審査）
 - 2）【再審査】Dual Energy CT を用いた肺灌流血液量(PBV)画像の研究
（放射線科学講座 准教授 小野 修一 ※審査結果：条件付承認）
 - 3）EGFR 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌に対する cetuximab および塩酸イリノテカン併用療法の KRAS 変異有無による有効性・安全性の検討
（腫瘍内科学講座 講師 伊東 重豪 ※審査結果：条件付承認）
 - 4）糖尿病患者の運動の習慣化を目的とした集団力学的アプローチの効果に関する研究
（健康支援科学領域 講師 富澤 登志子 ※審査結果：再審査）
 - 5）高齢者訪問看護における糖尿病ケアのクリティカルパスの開発
（保健学専攻 大学院生 細川 満子 ※審査結果：条件付承認）
 - 6）音楽を用いた足浴の効果に関する基礎的研究—生理的・心理的指標による評価—
（健康支援科学領域 助手 北島 麻衣子 ※審査結果：条件付承認）
 - 7）急性心筋梗塞後の左室リモデリング進展抑制に関する臨床研究：オルメサルタンとエナラプリルの効果の比較検討
（循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科 助教 阿部 直樹 ※審査結果：条件付承認）
 - 8）婦人科悪性腫瘍化学療法時に使用される好中球コロニー刺激因子による骨への影響についての検討
（産科婦人科 講師 樋口 毅 ※審査結果：条件付承認）
 - 9）【申請内容変更】
課題名非公表
（神経内科 講師 瓦林 毅 ※審査結果：条件付承認）
 - 10）【申請内容変更】多床室における患者のカーテン使用に対する認識と使用状況
（看護部 看護師 石田 芳子 ※審査結果：条件付承認）
 - 11）生体部分肝移植の実施
（消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科 科長 袴田 健一 ※審査結果：承認）
 - 12）漿膜下層浸潤胆嚢癌治癒切除例に対するゲムシタビン術後補助化学療法の有効性・安全性の検討
（消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科 講師 鳴海 俊治 ※審査結果：再審査）
- 2 臨床研究等終了報告書について
委員長から、当日回覧資料のとおり、健康支援科学領域 西村助教及び保健学専攻 渡部氏から臨床研究等終了報告書が提出された旨報告があった。

III 議題

- 1 新規倫理審査申請

1) 下部尿路症状を有する慢性前立腺炎に対する薬物治療の有効性に関する検討

(泌尿器科学講座 准教授 神村 典孝)

申請者の神村准教授から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、承認することとした。

2) 糖尿病患者の運動の習慣化を目的とした集団力学的アプローチの効果に関する研究

(健康支援科学領域 講師 富澤 登志子)

申請者の富澤講師から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、申請内容の一部変更を求め、承認することとした。

3) 岩木地区住民における健康調査（平成21年度岩木健康増進プロジェクト）

(社会医学講座 教授 中路 重之)

申請者代理の梅田准教授から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、承認することとした。

4) 直腸がん肛門温存手術患者の排便障害の認識とセルフケアを促進するための看護介入の検討

(保健学専攻 大学院生 藤田 あけみ)

申請者の藤田氏から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、申請内容の一部変更を求め、承認することとした。

5) 喉頭全摘術を受けた患者のボディ・イメージの変容過程に関する調査

(保健学専攻 大学院生 原子 千鶴)

申請者代理の西沢教授から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、承認することとした。

6) 生体部分肝移植の実施

(消化器・乳腺・甲状腺外科 科長 袴田 健一)

申請者代理の豊木助教から申請内容等について説明及び質疑応答等が行われ、その後審査の結果、承認することとした。

2 その他

1) 脳死判定医の選定について

委員長から、事前配布6に基づき、附属病院長から新たに1名の医師を脳死判定医として選定してほしい旨依頼があったことの説明があり、その後審議の結果、候補者1名を脳死判定医として承認することとした（累計22名）。

・神経内科 准教授 松原 悦朗

2) 医学研究のための倫理に関する国際研修コースについて

委員長から、回覧資料に基づき、長崎大学熱帯医学研究所から、「医学研究のための倫理に関する国際研究コース」について案内があった。